



発行所
カトリック福江教会
広報委員会
五島市末広町 3-6
☎ 0959 (72) 3957
●ホームページ●
<http://fukuechurch.jimdo.com>

中田主任司祭着任!



四月二十日より、福江教会の主任司祭として中田輝次神父様が着任された。着任後初の日曜ミサの最後に歓迎式が行われた。岩下議長から歓迎の言葉が送られた後、花束の贈呈があった。ミサの説教では、前任地を離れる際の心境を替え歌にした「瀬戸の花嫁」を披露する場面もあった。ミサ後の茶話会では、神父様自ら「一五一会」という四本弦のギターに似た楽器を演奏しながら熱唱する

など大いに盛り上げて下さった。下五島の教区での司牧は初めての事でしたが、きっと新しい風を吹かせてくれる事でしょう。

中田神父様は、ブログや YouTube の発信も積極的に行われています。コウジ神父 ブログ で検索してみてください。よかったですらチャンネル登録をお願いします!

中田神父様よりアンケートに回答して頂きました。

- 名前：中田輝次（なかだこうじ）
- 霊名：トマス
- 司祭叙階した日：一九九二年三月十七日（長崎の信徒発見の記念日）
- 出身教会：鯛ノ浦教会
- 生年月日：一九六六年三月十二日（五七歳）
- 好きな食べ物：野菜炒め（野菜全般）が好きです。

- 嫌いな食べ物：特にありません。
- 趣味：釣りが趣味です。週に八日出かけても良いくらいです。
- 特技：ルービックキューブを三分以内に完成させることができます。
- 長所：忍耐強いのが長所と思います。
- 短所：矛盾しますが、瞬間湯沸かし機の欠点があります。
- 司祭になるきっかけ：幼い頃母親から、「神父様はすばらしい仕事だよ」と、毎晩教えられながら寝かしつけられていました。神学院の上級生になった時、鯛ノ浦教会の主任神父様は萩原神父様で、萩原神父様のお姿を見て最後に司祭になることを決めました。
- 福江教会で取り組みたいこと：ネタばらしはあまりしたくないですが、少なくとも福江教会・浜脇教会・井持浦教会で洗礼を受けた人の記録を、電子化したいと思っています。大げさなことではなく、名前を尋ねられたら、たとえ司祭館を留守にしても洗礼年月日、洗礼名の返事ができる状態にしたいです。前任地では六一五〇人のうちほとんどの洗礼の記録を電子化してきました。

中村神父様

ありがとうございます！



四月十六日（日）二番ミサ後、中村満神父様の田平教会への移動に伴い送別式が行われた。信徒代表として副議長の濱口氏、子供代表は熊川さんからお別れのあいさつがあり、その後花束と饗別の贈呈があった。

神父様より「八年間お世話になりました。ありがとうございます。八年のうち三年はコロナで活動できず、ひどく寂しく思っていました。」と述べられた。また、長崎での教皇ミサの実行委員長を務められた事について「実行委員長を福江教会から通いながらするように言われた時には驚いたが、助任司祭達や皆さんに協力して頂いて、お迎えすることが出来たのは、良い記憶であり、信仰の遺産になりました。」と振り返られた。

あいさつの最後に「田平に行きます。平戸に来たときには訪ねてきてください。お茶とコーヒーくらいは出します。八年間お世話になり、ありがとうございます。」と締めくくられた。

中村神父様の功績は数多く、世界文化遺産に関する様々な働きかけをはじめ、福江教会では土地区画問題への対応と、それに伴い行った教会周囲のブロック塀やトイレ、倉庫の改修、牢屋の窄殉教百五十年を記念して、浜脇の改修なども行われた。

中村神父様、長い間福江教会と下五島の教区のために尽くしてくださりありがとうございました。お体を大切に田平教会でも活躍ください。

天使祝詞

助任司祭 稲田祐馬

天使祝詞と聞いて懐かしい気持ちになったでしょうか。「めでたし」の祈りのタイトルです。そこから「恵みあふれる」の聖母マリアへの祈りになり、現在の「アヴェ・マリア」アヴェ・マリアの祈りに至ります。「天使祝詞」を唱える、と言うよりも「めでたし」ば唱える、あるいは「めでたし」は言う、のほうがなじみ深いので、天使祝詞ときいて、ああそがんやったね、という感じもあるでしょう。この聖母月でロザリオに親しんだわけですが、わたし一人でロザリオする時には、「アヴェ・マリア」で唱えたり、「めでたし」で唱えたり、はたまたラテン語で唱えた

りしていましたが、「恵みあふれる」で唱えることはありませんでした。「恵みあふれる」と「アヴェ・マリア」は口語で似ているからかもしれない。どうしても混ざってしまつてリズムよくいきませんでした。その点、「めでたし」はリズムが良く、幼いころに眺めていた祖父母の祈りの姿も懐かしく思い出され、お気に入りの祈りです。

さて、この「天使祝詞」、マリア様へのお祈りなのに、なぜ「天使」なのか、というと、お告げの場面の、天使ガブリエルのマリア様へのお祝いの言葉を用いて祈っているからです。「おめでどう、恵まれた方。主があなたと共におられる」(ルカ福音書1・28)。これは、新共同訳ですが、ラゲ訳によると「めでたし、恩寵おんちゆうに満てる者よ、主汝なんじと共に在まします」とあり、めでたしの祈りにより近い形になります。「めでたし」アヴェですが、こう見ると、「恵みあふれる」の祈りにはこの「めでたし」が欠落していることがわかります。この辺もアヴェ・マリアの祈りに変わった理由の一つのようです。現代語訳に入れるとすると、「おめでどう」ですが、通夜・葬儀の前にも唱えられる大事な祈りであることから、その場面で「おめでどう」と唱えるのは奇妙だ、ということ、ラテン語

からそのまま「Ave Ave」と唱えることが採用されたそうです。

外国語がそのまま祈りの言葉になっているものはいろいろありますが、「アーメン」もそうですね。元はヘブライ語です。「まことにそうです」とか「そうありますように」という意味です。「そうありますように」と聞くと、マリア様のお祈りについて語っているこの流れで思い起こすのは、「お言葉通りこの身になりますように」というマリア様の言葉、お告げのシスターたちのバツジにある「*Et in*」「なれかし」です。このアーメンを、マリア様と心を合わせて、「なれかし」の心で「アーメン」と唱えることもできそうです。

出会いと別れ

助任司祭 西田祐尚

福江小教区に助任司祭として皆様にお世話になり、今年で三年目を迎えました。そして同じく司祭に叙階して三年目を迎えました。「光陰矢の如し」と古い諺言いますが、月日の流

れの速さを感じる今日この頃です。

さて、福江小教区の司祭団(主任司祭と助任司祭二名)もメンバーが変わり新しい主任司祭をお迎えしてのスタートとなりました。改めて、中田主任神父様、そして小教区の皆様どうぞよろしく申し上げます。

ちなみに中村前主任神父様は、無事田平教会に着任されたそうです。田平では自炊なされるようです!

この春の季節に誰しもが経験すること、それは出会いと別れ。誰かの巣立ち、旅立ちを見送り、そして新しい人と出会う。私たちの一生は、この連続なのだと思えます。

出会いと別れ、それはイエス様の弟子たちも経験した出来事でした。イエス様との最初の出会い(マタイ4・18-22、マルコ1・16-20)、そして別れ(昇天 マルコ16・19、ルカ24・50-51)、弟子たちも私たちと同じような経験をしているので。しかし神様はあとに残される弟子たちに、素晴らしい恵みをお与えになりました。聖霊という恵みです。

「私も父にお願いしよう。そうすれば、父は別の弁護者を遣わして、いつまでもあなた方と共にいるようにしてくださる。この方は、真理の霊である」(ヨハネ14・16-17)

「皆の上に聖霊が下り、霊が語らせるままに異国の言葉で語り始め

た」(使徒録2:4)

弟子たちは、イエス様を天へと見送りました。しかし、神様は弟子たちに聖霊を遣わした。これは私の想像に過ぎませんが、弟子たちの中にはいざイエス様の顔を見られなくなると思っ、悲しみを感じた弟子もいるかもしれません。しかし、その悲しみや涙を振り払い、弟子たちは新しい宣教の旅へと向かって行ったのです。この福江小教区の共同体も、前任者を田平へと見送り、そして神様は新しい弁護者、守護者、導く者をこの私たちに遣わされた。私たちは気持ち切り替えて、神様が遣わされた新しい指導者と共に、共同体として福音宣教に励んで参りましょう。今年一年、またこれからもよろしくお願ひします。

聖具堂について

中村神父様より、就任最後のプレゼントとしてルルド裏手に聖具堂を設置して頂きました。

使わなくなったロザリオや十字架、御像などを神父様がここに納め、祈りを捧げていただいた後処分いたします。聖具の処分にお困りの方は、司祭館までお持ちよりください。



聖具堂完成後、岩下忠さん岩下政さん梅木さんと



2023

井持浦ルルド祭

五月十四日(日)午後

一時より、井持浦教会にてルルド祭が行われた。

コロナ禍を経て四年ぶり

に下五島全教区の信徒が集まって開かれたこともあり、晴天の下三百名近くが参加した。教会下の広場からルルドまでロザリオを唱えながら皆で行進した後、ルルド前で祈念ミサが行われた。

ミサを司式した中村神父様は、井持浦ルルドの基となったフランス南部のルルドの泉の奇跡について話し、マリア様の導きにより水のない



マリア様やルルド内に花びらをまく「花まき隊」として福江教会からは四人が参加しました。お疲れさま!



場所から湧き出た、まだ濁っていた水をすくって飲んだ聖女ベルナデッタの行動について「神様を信じている事、信仰の深さを、マリア様を通して証した」と説いた。また、家庭や職場など生活の場で互いに愛し合、認め合っていくことの大切さを話された。

日本最古のルルドである井持浦ルルドは、造られてから来年で百二十五年目を迎える。今年参加出来なかった方も、福江から少々距離はあるが来年のルルド祭は巡礼を兼ねてより多くの信徒に参加して頂きたい。

2023年度福江小教区評議会評議員

Table with 2 columns: 役職 (Position) and 氏名 (Name). Lists members such as 会長 中田輝次, 副会長 稲田祐馬, etc.

令和5年度班長名簿

Table with 4 columns: 地区 (District), 班 (Class), 氏名 (Name), 世帯数 (Household Count). Lists class leaders across districts like 松山, 水主町, etc.

*通夜・葬儀の奉仕者を募集しています！

福江教会では、長年経済問題評議員、地区委員、典礼委員の方々が中心に通夜・葬儀の典礼奉仕を行って...

【通夜式】 開始三十分前よりロザリオの祈りの先唱

・「葬儀のしおり」本の朗読

【葬儀ミサ・告別式】

・朗読・答唱・アレルヤ唱

(遺族の方が出来ないときに担当)

・先唱ニヶ所(感謝の賛歌「聖なる...」

平和の賛歌「世の罪を...」を唱

仮設共同納骨堂について

他教区よりお骨を移動された方、墓の管理が継続困難で教会に管理を委託したい方...

の方より墓を譲り受け、桐ヶ丘墓地内に仮設の共同納骨堂を設置いたしました。場所は、イエス様の像の近くです...

また、時期は未定ですが正式な共同納骨堂を希望される方は、まずは司祭館まで御相談ください。

える

・「葬儀のしおり」

五十五ページの先

唱者の所を唱える



通夜・葬儀ともに「葬儀のしおり」本に沿って行いますので、難しいことはありません...

誰もが経験する大切な方との別れ。亡くなった方を哀悼と感謝の意を込めて送る通夜式、葬儀告別式は...

お手伝い下さる方、神父様か評議員または典礼委員にお声かけ下さい。よろしくお願ひします！

同納骨堂を設置する予定となっております。利用を希望される方は、まずは司祭館まで御相談ください。

